

新潟県公民館月報

昭和33年9月1日(毎月1回1日発行)
 発行所 新潟県公民館連絡協議会
 (新潟市西區、北谷町2番地)
 発行人 丸山直一郎
 (定価 一部六円)
 九月号 (67号)

第九回県公民館大会迫る

九月十九、二十日・妙高々原町

開催要項

一、趣旨 本県教育の目標は、昭和三十一年以来「自主的協力的な態度の育成を旨とし、合意創造の力を伸長する」ことが掲げられていたが、各市町村公民館も、それぞれ地域においてその実状に應じた活動を展開し、この目標達成に努めてきた。

しかし、広範な対象と多様な内容をもちながら、なお不十分な諸条件のなかで活動して行かなければならない公民館の現状と将来には、幾多の問題が山積している。

本大会は、特に公民館の本質と、その目的達成のためとるべき活動を再検討し、今後の発展に資せんとするものである。

二、大会主題 公民館の本質から見て、その活動はこれがいかに三、期日 昭和三十三年九月十九日(金)二十日(土)

四、場所 中頸城郡妙高々原町妙高中学校

五、主催及び後援 主催 県教育委員、県公連、妙高々原町教委
 後援 県市長会、東山村会、県連合青年団、県PTA連絡協議会、県市議会議長会、東山村議会議長会、奥村人連盟

主審

上越地区運営大会委員会
 一、参加者 1. 公民館役員(連審委、館長、主事、書記等) 2. 市町村教育委員及び向事務局長職員 3. 市町村長及び同議会議長並びに関係職員 4. 社会教育委員及び社会教育関係団体職員 5. 学校長及び教職員 6. その他希望者

七、講演 講師松丸忠雄氏、演題「これからの社会教育はどうあるべきか」

八、分科会 第一分科会「都市公民館における学習について」(青年学級、定期講座、婦人学級おやじ教育、政治教育、討論会、座談会等について)

第二分科会「農村公民館における学習について」(前記の通り)

第三分科会「体育レクリエーションについて」

第四分科会「諸行政と公民館について」(職員、予算、施設、備品、産業教育等について)

第五分科会「福智覚教材、広報、図書活動について」

第六分科会「新生活運動と公民館について」

第七分科会「社会教育関係所

と公民館について」

【注】討論の進め方順序 ①公民館の本質について ②大審と問題点について ③解決策について等々

九、日程
 十、参加申込 別記申込書に記入の上、各市町村公民館にて取りまとめ、県社会教育課内県公民館に提出すること。

予算の編成期に当り

全公連会長各県の協力要望

全公連では昭和三十四年度予算の編成期に臨み、関係当局と交渉を重ねてきたが、今回下記要請書を文部省、大蔵省、自治庁および衆参両院ならびに各政党の関係当局に提出、陳情してきた。しかしこの要望を実現するためには今後さらに中央、地方が共に協力して努力を運動を展開しなければならぬので、各県公連に対し、各部所属の各党支部と各衆参両院議員に対し、格別の尽力を仰ぐため別記要請書を提出陳情するよう依頼してきた。

昭和三十四年度公民館振興関係

予算に関する要請書
 一、要請趣旨(抄)
 公民館が市町村における社会教育の中心的機関として、国民の生活ならびに文化の向上に貢献しうるためには、その施設・設備が充実し、職員が適任に配置されていることが必要である。

しかも、現下の青少年不良化の傾向は、まことに憂慮にたえないものがあるにもかかわらず、国家の教育施策は社会教育を軽視しがちであることは甚だ遺憾である。殊に、この中心的機関である公民館の設置数は三万を超え、全市町

第一日 19日(金)	第二日 20日(土)	8.30	受付
		9.00	受付
		10.00	開会式と表彰
		11.00	報告
		12.00	記念講演 (質疑応答)
		1.00	昼食
		2.00	分科会
		3.00	分科会
		4.00	分科会
		5.00	閉会式

村の八六%に達しているとはいえない。その施設・設備は甚だ貧弱でありかつ、その運営にあたるべき職員も職制が確立されていない。

国家は、重要国策の一つとして青少年教育の振興にあたられている現在、青少年指導の中心機関として、

(一) 現任職員の再教育の強化
 (二) 施設・設備の充実促進
 (三) 公民館の設置および設備基準を設け、速かに国庫補助を増額すること。
 (四) 起原の調査
 公民館の設置および設備のための財源としての規程のワクを恒常的に設定し、事実上これを認めるよう措置すること。

次

日本PTA全国大会 P. 2

現代社会とラジオ・テレビ P. 3

南雲先生の死をいたむ P. 4

五頭山・華報寺の調査 P. 6

目次

しての公民館の整備充実が急務の措置と考えられるのみならず、新市町村の建設および地方産業の振興について公民館の果たす役割は甚大なるものがある。

二、要請趣旨(抄)

(一) 公民館職員の職制の確立
 公民館活動を有効適切なものとするために、その運営の中核となる館長ならびに主事の職務内容を定め、これを必置とすること。

(二) 職員給に対する国庫補助制度等財政措置の確立
 職員の給与に対する国庫補助はこれを地方交付税に包括することなく別途に国庫補助制度を確立すること。地方交付税の算定基準の大幅引き上げ。

日本PTA(第六回)全国大会

議場・勤評でもめる

【北海道高】日本PTAの第六回全国大会は、札幌の通り去月二十六、二十七日の両日、北海道の小城市邑内小学校で開かれた。集まった父母と先生おおよそ四千五百人が七分科会にわかれて熱心に五十件近い問題を討議した。しかし話し合いの成果は例年のことながら極めて少なかった。しかも「子どもの幸せのためにPTAは何をなすべきか」という大会目的は忘れられたかのようになり、「勤評決定の問題でつかみ合いさえ議論せられた。以下主な分科会の模様をお伝えしよう。

◆第一分科会 大会の焦点は同じでも第一分科会にあっては、そのテーマが「PTAにおける政治活動の意味と限界」ということであつただけに、予想通りの勤評問題がもたされた。しかもこの前日、異例の大座談会が発表されたため、大会出席者の三分の一強の千五百名が参加、勤評の実施をめぐって採り、革新の立場に立つ意見がはげしくわたり合った。

すれは組織が崩壊する(愛媛)「PTAに力がないことではない。血みどろな戦いをさせておけ、という意見には納得できなかった。冷却期間をおくよう文部省に意見具申すべきである」(静岡・北海道)このほか「法治国である以上法を守らねばならぬ。勤評は実施すべきだ」とか「文部省がなぜ混乱を招きつまで実行するの不可解だが、授業放棄などでも子どもを犠牲にする先生方も反省してもいい」といった意見が出された。大勢としては「冷却期間をおくべきだ」という声がかなり多く、「決議すべきだ」というのに対して「主眼からはずれている」として議長団がとり上げなかったため議場は騒然、マイクを奪う

もの、議場をうるしあけるものでなご混同した。そこで結局この問題は日本PTAの理事会で態度を決定する事になった。従つて「PTAの政治活動」の

◆第三分科会 テーマは「安全教育はどのように行つたらよいか」これについては、助産者(武田一郎北海道女子大校長)から「機械文明、科学の発達は生活に危険をもたらす上になり、これについて防止の知識、理解、技能、態度を習得させ、危険から身を守るような適応性をもたせなければならぬ」と安全教育の基本問題についての提言があつた。そこで

◆第四分科会 ●関係も

問題は今よく認識されなかった。なご「PTAとしてどの取決を支持するか、どの人々を支持するか」といふような政治活動はすべきでない。しかし、PTA本来の目的である子どもの幸せのためという立場で民衆的政治生活に表裏無二の意見が印象的だつた。

子どもとの心算や行動について研究する必要がある●親の生涯、親の行動が正しく美しいものになることが、子どもの指導上もっとも大切である●自分の子どもとの向きを考へるの

決議 私たちはここに第六回全国PTA大会を

◆第五分科会 各地方の実践活動の発表を通して「PTAが社会教育団体として如何なる精神を推進すべきか」を討議したが、いずれのPTAにおいても成人教育の重要性とその計画の拡充、運営の工夫が指摘され、特に最近における青少年の問題とそれら輔導にとり上げられねばならぬことが強調された。

またPTAは社会教育団体としての認識に基いてその活動を展開しなければならぬということも確認された。

宣言 心雅、前にいとし子

現代用語の基礎知識 一九五八年増補版

この本は昭和28年に初版が出されたから昭和33年に至るまで毎年増補を加えて18回に二百三じない好書である。これはあなたが出版社の誇張とのみは、い



内容は時局を 理解する用語、 文化を理解する 用語、科学を理解 する用語、日 常生活に出る用 語、外米後、等となつていて更が、ひどく印刷的である。この 中の中が十項目位に分れ、夫 々専門の権威が執筆している。 十分読み取れる。特に目見に 収録用語一〇、五〇〇語、B も面白い。ところがとうとう 6、九二八頁の大部のものだが、 単なる写真集ではな。深い愛 定価は三二〇円得手ごらのもの だ。感心である。

現代社会とラジオ、テレビ

思考力は止まらない

白痴化はプログラムの問題

お茶の水女子大学教授 波多野完治氏

日本放送教育学会(会長西本三三氏)では七月三十一日から八月二日の三日間東京都下三鷹市の国際基督教大学で「第四回放送教育学会」を開いた。

第一日目の集議はお茶の水女子大波多野完治教授の「テレビが現代社会に与える影響」について、出現当時危惧された「白痴化」とは逆に、テレビの本質は人間の思考を止めることではなく、広いプログラムであれば、人間の思考を能動的ならしめ、かえって好ましい影響が望める」とがあげられるが、その講演要旨が日本教育新聞に掲載されているので転載する。

テレビ革命論

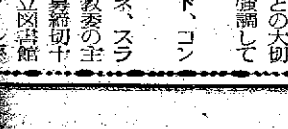
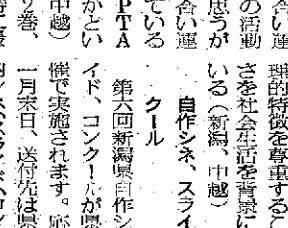
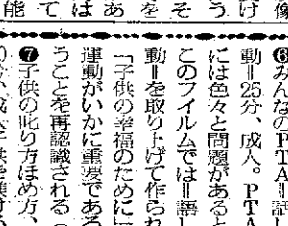
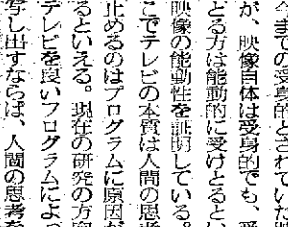
テレビが新しい生活への革命をもたらすと。新しい機能をもたらしという説が生まれたが、現在テレビによっておきかえられた。これはテレビだけが原因とはいえない(米國映画の進出も大きい原因)いままでも映画を観ることが習慣化したいたが年平均二十五回)その習慣がテレビにおきかえられた。

●機能的作用 米國でのテレビを見る時間の通常は大人で十八時間、子供で二十九時間となっており、大人はその十八時間だけ余暇が減っている。これを社会心理学者は、他のもので満たされていった働きをテレビが機能別に代用しているとして、この面が非能動に強くなつたことを指摘している。

●テレビ革命論 テレビの出現以来、テレビが新しい生活への革命をもたらすと。新しい機能をもたらしという説が生まれたが、現在テレビによっておきかえられた。これはテレビだけが原因とはいえない(米國映画の進出も大きい原因)いままでも映画を観ることが習慣化したいたが年平均二十五回)その習慣がテレビにおきかえられた。

●野球見物代表されるが、テレビの野球中継によって観客が左右されることはなく、好カードであれば観客はいまだ増えている。新聞については米國ではテレビの影響はない。しかし夕刊の売れ行きは減っている。夕刊の娯楽性がテレビにおきかえられたといえる。

●思考力 以上の点のほか、本質的な問題として、テレビの映像性が与える影響である。映像による思考は概念による思考より原始的で、かなり古風にもどるではないかと心配する向きもあるが、人生の知恵は本からではなく、人との接触からであるから、テレビを通して、すなわち映像によって人生の知恵が生まれてくるのではないかと考えられる。というのは、最近、スイスやソ連の心理学者が、今までの受身的とされていた映像が、映像自体は受身的でも、受けとる方は能動的に受けとるといふ映像の能動性を証明している。そこでテレビの本質は人間の思考を止めるのはプログラムに原因があるといえる。現在の研究の方向はテレビを良いプログラムによって写し出すならば、人間の思考を能



- ①新潟日報 ニュース27号、五分
- ②新潟市役所新庁舎落成⑨すしの賑わい競争⑩新文化財をたすねた爆の銅鑼(川相敏山)
- ③新潟日報 ニュース28号、6分
- ④藤山にケール・カー⑤お化け変装路⑥新潟飛行場正式に返還
- ⑦新潟日報 ニュース29号、6分
- ⑧新しい新潟駅⑨金もろけの神、金龍(長岡)⑩赤ちゃんコンクール(新潟)⑪全国高校選抜レスリング(新潟)
- ⑫新潟日報 ニュース30号、5分
- ⑬新文化財をたすねて(鳥鳥)天國の北陸地産店開き
- ⑭新潟日報 ニュース31号、5分
- ⑮深緑の巻旗山(南魚)⑯はまぐみ学園(新潟)⑰大糸線に沿って(ニュー5本木地)イブライに在庫致しております
- ⑱みんなのPTA①話し合い運動②25分、成人、PTAの活動には色々問題があると思うがこのフィルムでは話し合い運動を取り上げて作られている
- ⑳子供の幸福のために PTA運動がいかに重要であるかというところを再認識される(中越) 懐で実施されます。応募締切十月末日、送付先は県立図書館
- ㉑子供、成人子供を養育する時に厳

も注意を要するのは叱り方、ほめ方にあるといわれている。併し、もう一歩進んで考えた場合それ以上に重要なことは叱る側、ほめる側の大人の生活態度にあることを、このフィルムで(新潟)

⑧我が身の身、25分、一般、誰もが他人に迷惑をかけることは悪いことと知っている。知っていて実行できないのは、いったいどうしたと云うのだろうか。このフィルムでは他人のふり見て、わが身を直せ」といわしを思い出させられる。(新潟)

⑨生殖の生理、7巻、成人、高校上、このフィルムは性に対する、正しい知識を与えようとして作られたもの。内容は9歳にわかれており、前半は子どもに生まれる過程を人体を通じて直接解説する。後半は女性の性徴である月経を前半の機能との関連において説明している。全巻を通して男女がその各々の生理的特徴を尊重することの大切さを社会生活を背景に論議して(新潟、中越)

⑩自作シネ、スライド、コンクール

第六回新潟県自作シネ、スライド、コンクールが県教委の主導で実施されます。応募締切十月末日、送付先は県立図書館

ああ南雲晋先生!

七月十六日 逝去



安らかにねむれ

県教育庁 上越出張所長 小林 誠

南雲さん、涙しみをこめて南雲さんとお呼びいたします。

色のおせだ登山帽、古びた肩掛け、カバン、茶色に染まった白の運動靴で風采には一向屯着なく、ビギンとして第一線に活躍していたと語られています。

教師に職員として九年間余一編に机を並べ、暗にふれねにふれ人を語り時代を論じあわれた同僚は教育ひとすじの固い信念と人柄からほとほと出るあなたの尊厳に

公民館職員、婦人会、青年団等の会員であなたの御指導を受けたい者はないといわれる程であったの徳をしい自宅の門を叩く人々の数も知れず称して私設公民館といわれていましたとかあなたは疲れると眼鏡をはずし頭を抱えて伸びあがっていられたと聞きましたが、そのことから過労のきざしがあったのではないのでしょうか。不幸殉難にたおれ療養生活を送られたあなたのおお抱持はどんなに苦しいでしょう。

病中においても部活の青年を案じ婦人会活動の在り方を考え、またラジオを聴取されておられた努力に病院に驚愕する人達は誰も涙ぐましく胸をうたれたことと云われます。

第一とされた左利き右利きの自在さと相まった手早さに進歩を遂げたいと申しますのに第二回手術後の交際も誠意を凝らしていません。御家族の精こつこつした御看護の力もおよぼす、とうとう不届の客となられたお別れにひとしく涙いたしました。悲みはぐく胸の隅に増えています。

命をかけた社会教育のいばらの道いといふあなたの御遺志は青年団の中に育ち婦人会活動の中で伸び公民館活動のなかに生きてきつとあなたが念願したみんなの幸せな社会をうちたてていくものと思ひます。

今あなたの遺前に梅聴覚関係の花がたくさん飾られています。あなたが社会教育活動のなかに位置する視聴覚教育の重要性早くから著目されてこれに先鞭をつける

あなたに早くもとの健康な姿に接したいと願っていた南雲先生でした。私たちが早くもとの健康な姿に接したいと願っていた南雲先生でした。新潟県視聴覚教育連絡協議会長 堀井 栄 蔵

あなたに早くもとの健康な姿に接したいと願っていた南雲先生でした。私たちが早くもとの健康な姿に接したいと願っていた南雲先生でした。新潟県視聴覚教育連絡協議会長 堀井 栄 蔵

仕事で死なれた

新新潟県視聴覚教育連絡協議会長 堀井 栄 蔵

「中頸城郡で季節計開所が全村にできるまで私は自分で作ったアイデアを村々で回して廻るんだ」と職を辞して語ったその面影、私には決して忘れたいとほぐまに今や、越前職教育の除たその頃のお姿をまざままと思ひだされま。リネックサクを

「あなたが永い闘病の甲斐もなかつたが、生まれて間もない公民館を建てるといふことなど一ぱだ」ああ悲しい友人ひとしくあなたの訃報を心にしみ受取っているのです。

南雲先生、あなたは仕事に自分をお忘れながら家にあつてはまよふ父でありました。あなた

名設計のスタイルをみて、よき夫の思いやりがすみすみで行き届いていました。お父母に仕立てて、妻や子に對しては愛、御家族の皆様のお心を察して言葉もありません。今日の御葬儀ののぞみ、ただただ御冥福を祈ると共に、先生の感

南雲主事を憶う

中頸城郡公連会長 浦井 芳 男

戦後の混乱期にめざましい勢で渡漫した青少年の吐き出しによる傍観しお互いの保身に浮身をやつ自由奔放心は実に眼に余るものがあつた。消ええと同時打ち鳴らすのが普通だが余程の勇氣と愛情あつた。消ええと同時打ち鳴らすの力持ち式の身を粉にして放歌、吐き出しのアベック、動物まで働けないものであることを承生感のままの雑話、悪犯罪の続知している。それ故に南雲先生に出発力の横行、一時は手の下しよる現代の英雄的ななぞして救世主のうもない風刺が都内にも一律に響いて来たがその中に敢然と飛び込んで腹食を忘れ僻地を駆けまわって救世主の役を買って出たのが、社会や陣のある處に克くも斯々平語なる教育が南雲先生であることとを銘記して磨る一人たこのように感じ、感謝と共に遺家族の幸福を祈らざるには居られないのである。

社会教育資料 第七集

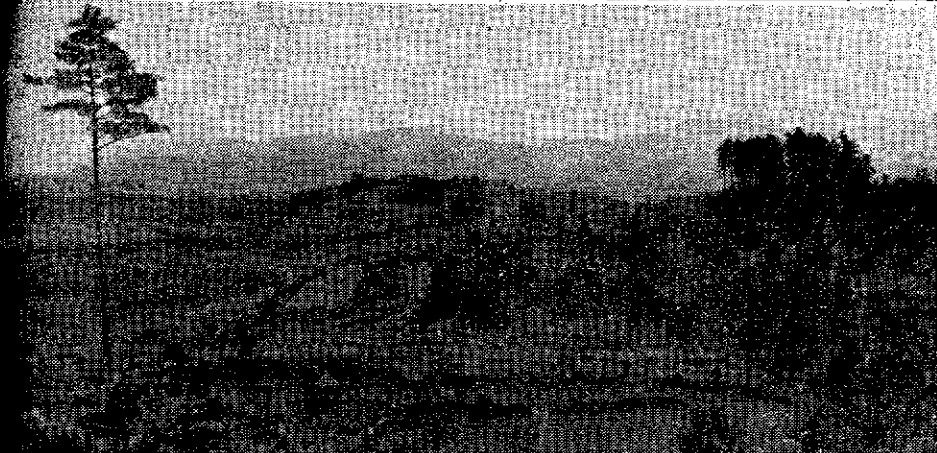
(一部・百円) 但し送料別

県社会教育課から発行されていた社会教育資料は、昭和二十七年の第六集を最後にとちえていたが、本年度第七集ができたので、希望者は新潟県公民館宛にお申し込み下さい。(大きさ) B5版・一一八頁 (内容) 本県視聴覚教育行政方針、県社会教育の現状、参考資料の三篇

五頭山

華報寺の調査

地域調査



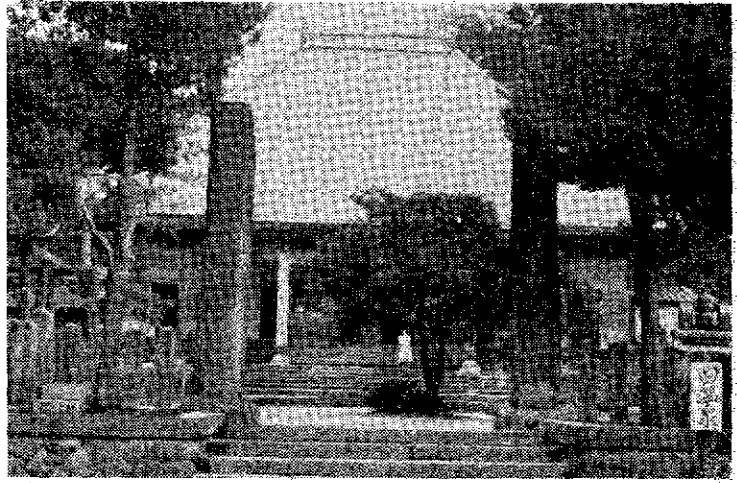
徳神村大字宮ノ下、式内巨鯨野(あさひの)神社の裏山から、舞ヶ峰をへだて遠望した五頭山(一名さみだれ山)

薄原平野を中に彌彦山脈を対峙する、楡形山脈中、妻ヶ嶽と並ぶ五頭山は、弘法開創と伝えるようにやはり古代人の心をひきつけた靈峰であった。越の入江が山すその近くまで迫り、地理的にも経済的にも至便のところであったが故に、考古学上のきわめて古い時代の文化から、ひきつづいて各種の遺跡が周辺に認められる。

八月初め興教委が興大、立大、国大のメンバーを招き遺物、遺跡文獻、壁跡各址に分つて実施したこの山麓の学術調査は、水原両教委の指導によって、中世遺跡遺物の散いつを防止する保護行政のねらいが主であったが、これを機として郷土の文化発祥を解明する幾多の貴重な手がかりが得られた。

華報寺大門

華報寺は五頭山麓の彌洞宗寺院。文明年間村上群登寺第六世太庵(たいあんぼんしゆ)を開山とするが、古く平安時代に海蔵寺と称する真言の寺院がその前身といわれる。鎌倉時代の末ごろ、宋に留學、南禅寺の開山となり、わが国の禅宗史にその名を知られた無蘭普門(むらんふもん)もの華報寺に一時住したことがその伝記にみえ、そのころの高僧の遺骨を埋葬した墓壇や出土品がほつきりたしかめられているから、やはり相当な名刹として内外にきこえていたものであったと考えられる。



現華報寺の本堂、慶々の火災で資料は殆どこのっていない。

台地が最近開拓された際、この一帯から、多数の石仏や五輪塔が出土した。これは華報寺裏山の墓壇とほかがつた庶民的な供養形態のようにならざる。石仏はこの附近のミカゲ石に彫刻した善魔像で、鎌倉時代の寺門辺の石工によって彫されたものであつた。

又五頭の丘陵には觀音、聖師、不動、ビシヤ門、地蔵をまつり峰々谷々にそれぞれ遺跡があつて三十六坊が並び立っていたといえらるこの山岳仏教には、修験的な要素もあつたが、そしてその

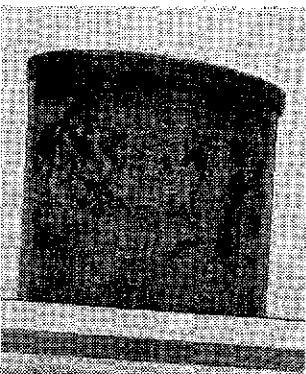


通称日洗沢で検出された墓跡の規模。

鎌倉時代の墓跡

明治三十八年ごろ、華報寺裏山の沢で松の根元を掘り起す際、高き三寸二分、径三寸四分の蓋のついた銅製の筒(播磨)が発見された。この筒蓋にはいれが彫り込んであつて、それは素詰(そてつ)という華報寺の坊さんのお骨の一分であることとそれを飾めたとは高岡彌隆氏の廟所であることが記されている。年代は今から六五〇年前のことである。今度の調査でこの

墓壇が改めて検討され、尺位の石を一面に敷きつめた方四間、三間、二間の三階式の墓壇であり、この骨蔵器は大きなミカゲ石の中央に穴をくって、その中に銅の小尊像と共に納められ又陶骨を入れた瀬戸の合子、石製の両側に須臾樂の骨環と、鏡の鏡二面が現地、現物についてたしかめられたのである。中世のお墓の制は未だくわしくたしかめられた例が少いだけに、今後この墓壇が、更に精細に調査された上は学界に貴重なる成果を加えることと思われる。



彌隆氏の廟所であることが記されている。年代は今から六五〇年前のことである。今度の調査でこの

三県公民館連絡協議大会

来年は長野県大町市

富山県 (魚津市、黒部市、下新川郡)
 長野県 (大町市、北安曇郡)
 新潟県 (糸魚川市、西頸城郡)

この三県隣接郡市で、例年開催の進捗も充分とは申されないが、本年度は第六回に当たっていたが、公民館が義務施設でないことを真八向五日、六日の両日、基頭臨生先を挙げねばならないと思います。町中学校において開催された。

参加者は富山県四十二名、長野津波の如くおし寄せた町村合併の三十二名、新潟県八十二名、その割合は公民館の姿をも一変させるに他約二十名であったが、又公民館を至り、市町村建設のための新しい活住民みんなのものにしてしまふとの趣動を展開しなければならぬ時期言のもとに「住民に公民館を理解していただく」

してものには、どうしたらいが「公民館活動を進めるために地域の実際をどのように進めよう」といふテーマの下に、昨八月五日(金)に本日八月六日(土)日間にわたり新潟県西頸城郡能生町を果したらよいかを主題とし河において三県公民館連絡協議大会を開催し、別紙の決議をいたしました。

公民館法の制定促進に関する要望
 社会教育の振興と公民館の育成
 につきまして、多大なる御配慮と御尽力を賜りましたことは関係者一同深く敬意を表するところであり、しかしながら公民館は戦後の生まれ、その活動もすでに十年の経緯を経ているとは申しながらその成長度も各々異なり、住民への

昭和三十三年八月六日

第六回三県公民館連絡協議大会

代表 山岸芳清郎

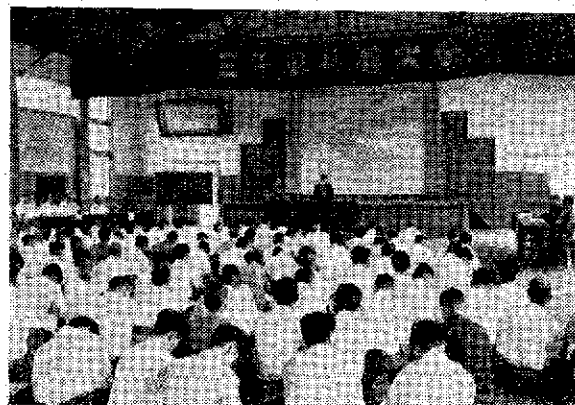
決議

一、昭和三十三年九月十日(土)前本大会より提出の「社会教育の振興に関する要望」の決議内容

イ、各公民館に専任下事を置くこと
 ロ、専任下を設置の経費は市町村、県でそれぞれ半額づつ負担することの実現を期すること。
 ニ、百二点を必須内容とする公民館義務施設単行法の制定を促進すること。

有沢謙三

昭和三十三年八月六日
 第六回三県公民館連絡協議大会



写真上は三県大会の開会式

銃砲刀剣類等の所持に注意せられたい

県社会教育課係

美術的価値のある銃砲刀剣類の登録業務は、政令と規定による取

扱っていたが、今年新たに銃砲刀剣類等所持取消法が制定公布施行された。この新たな法が制定された主要なる眼目は、暴力犯犯罪等の取締の見地から今までの規定の不備を改めるため所要の規制を加えたもので、この点から所有者にとつて所持についての制限が強くなった。

この意味からも未登録銃砲刀剣類所有者に対しては一日も早く登録手続をとられるよう指導された。

なお、登録証交付手数料が新法施行と同時に次のようになったので、その点も留意され何分の協力をお願いする。

① 登録証の交付 二百円
 ② 登録証の再交付 五十円

懸賞論文の募集要項

今年には実践記録を中心に
 全公館が毎年、文部省、NHKと共催する「公民館活動懸賞論文募集」は今年からは「実践記録」を中心として募集することになり締切は本年十月末日、発表は明年一月十五日とすることにした。

なお、詳細の要項は近く各都道府県および公民館を通じて通知するとともに「月刊公民館」に掲載する(全公館連絡第一号より)



不器に備え、慰め励ましあひながら、身はえた友情の世界を描写する。

青年と共に
 郷土を愛し、青年たちの将来に心を配り、その指導に生きて来たある実業家の横顔。

勤務のよろこび
 科学技術の問題点、無名人の誠実な勤務の精神など、善意の人間像を描く。

文化財を守り通した人々
 名もない一般庶民があらゆる迫害に耐えて、王家古物を守り抜いた実話を描く。

信濃縣歴史博物館の手とち
 身体不自由児の生活訓練の日報を紹介しながら、共同生活と自主性の問題点を構成する。

明日へのガシリーズ
 親と子のつながり
 親と子の問題を新山日本のモラルを中心に、若い人々の意見を聞いてみる。

モラルの再生
 道徳性は小さな子どもの社会にどんな形で身はえ、培われてゆくものか、子どもや母親たちの意見を聞く。

職場を支える力
 中小企業の工場内で、労働一体の理想を表現し、近代的人間関係を一歩々々確立してゆくはなし。

新しい家族関係
 日本の農村にいまお残っている家族関係の困題、嫁としようめ、夫と妻の問題など、人間関係のモラルを描写する。

へき村に芽生えた恋
 混迷の現代社会に生きる青年男女の性のモラルを、実在青年男女を登場させながら構成。

ある友情
 荒れたる人生の原野に立って

良き国際市民
 無意味な排他性、劣等感、優越感などの要素を排して、まき国際市民となるためのモラルを構成する。

現代に生きる青年や子どもたちの生の声を、素朴に現実と理想、勇気について解説。

自由、忍耐、愛国心、純潔など、その一問一答を録音構成によって紹介する。



公民館図書部の

若きA君へ

県立図書館司書 落合辰一郎

第一便

A君その後はお変わりありませんか。相変わらず元気で村の公民館活動に勤にその若い情熱を傾けておられることと思います。

人間は真面目に考えれば考へる程多くの疑問がわいて来るものだと思います。逆に言えば疑問の少ない程無意味な情性のみで話している人達だといえるかも知れません。

それはおぼろげな、先便でお問い合わせのあった公民館図書部の考え方について、私見を申上げて見たいと思ひます。もちろん私は一介の図書員で、公民館に關する経験は皆無ですので、あるいは甚だしく見当違いの見解になるかも知れませんが、その意点を願願願っておきます。私の見解はこうなので

しようし、又図書館法はその目的を「国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする」と定めている処を比較すれば、機能上兩者の間に何等實質的な差異は認められないと思つたのです。強いてその差異を求むるならば、それは単に規模の大小ということに歸するのではないのでしょうか。

図書館をその機能の点から大きく教育的図書部と専門的図書部に分けるのが普通ですが、市町村立図書館や公民館図書部は当然に学校図書部ともにも教育的図書部の範ちゆうに入らざるを得ないのです。又図書館の規模についてはまだ決定的な分け方はないようですが、学究院公示第18号(昭和26年)によると次のように4つの段階に分けています。

年間利用人員2万人以上 小図書館 蔵書1万冊以上 年間利用人員5千人以上 大図書館 蔵書1万冊未満 何故か規模という点を挙げたのかと申しますと、実は図書館の組織・機能の点からも独立の図書部の方法が規模によって、いろいろ違つて来た不十分形態の図であるのだからです。

ヒゲを取らないで行きました

(文部省第一回主事研習会場より)

飯浜 一郎

公衆と高いたい季節であるが、その一回日は新網よりもほるかに出て居るは二十三元です。不受講や遅く、猛暑といふこと。欠席の果も若干あります。毎九時からは十七時まで、文字どりの話と主張の議論の連続でしました。二十日から一週間、場所は野の図書員養成所、新市町の杉野主事と一語です。小学生文部省は近々主事必置、資格

以上が私の公民館図書部に対する見解なので、説明が下手で、おぼろげな点が多いかと思ひます。又何れ疑問が起きたら御連絡下さい。私も勉強の意味で、人かきいたことと読んだことを本にして私なりの意見を申上げ多少なりとも御参考に供する積りで、では御健闘を祈ります。(八・一九)

規定、財源の裏付などとして行きたという予定で、現在明年度予算編成に取組んでいるとの事で、次期国会又は通常国会に提案するのにはないのでしょうか。局長も課長も社会教育官も口をそろえて、この主事講習と法改正までとあわずかという感じ。講師陣は承知の通り、文部事務官や内閣事務官、官廳関係等の役人だけで、専門用語でべらべらやられ、丁度学生時代の議論一息張りが思い出され

交付税には、公民館教育費などせず、はつきり公民館費と打出すべきである」と、現場で働く者の切実な真情をも吐露した。私は枳尾を出る時、熊倉さんから「ヒゲを落して行け」なんて言われ、苦笑しましたが、きて見ると、老年者の顔も一、二あり、ヒゲの方も文部省の大平事務官を始め、四名程おられます。落す必要も認めないよう。 杉野主事は、地方交付税関係で、自治庁をたじと云せ、まるで専門家であるなどの声も聞かれるなど全く「杉野」の面目が、今日では三百円。また、机にかじりついてノートしましょう。 みなさまによろしく。 上野にて 飯浜 一郎



あとかぎ いろいろの事情で、月報がおくれましました。お詫びいたします。 八月三十日、柳水閣で編集委員会が開かれ、意見が交わされました。遠からず、その成果を形に現わしたいものです。 大会近し。多数の方の参加を期